

農産物の残留農薬検査結果(令和元年10月～11月)

食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、厚生労働省は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物等に残留する農薬の検査を行っています。

今回は、令和元年10月下旬～11月に健康福祉局食品専門監視班及び各区福祉保健センターが収去した農産物の検査結果を報告します。

1 市内産農産物

10月下旬に収去された、だいこんの根(5検体)、玄米(3検体)、にんじん(2検体)の計10検体、11月に収去された、さつまいも(3検体)、キャベツ及びさといも(各2検体)、とうがん、はくさい、ブロッコリー及びみかん(各1検体)の計11検体、合計21検体について検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。いずれの検体からも農薬は検出されませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました

2 国内産農産物

11月に収去された、じゃがいも、だいこんの根及びブロッコリー(各1検体)の計3検体について検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。ブロッコリー1検体から1項目の農薬が検出されましたが、残留農薬の規格基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

表1 残留農薬検査結果

(令和元年10月下旬～11月)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
市内産農産物						
キャベツ	横浜市	2	0			
玄米	横浜市	3	0			
さつまいも	横浜市	3	0			
さといも	横浜市	2	0			
だいこんの根	横浜市	5	0			
とうがん	横浜市	1	0			
にんじん	横浜市	2	0			
はくさい	横浜市	1	0			
ブロッコリー	横浜市	1	0			
みかん	横浜市	1	0			
国内産農産物						
じゃがいも	北海道	1	0			
だいこんの根	千葉県	1	0			
ブロッコリー	埼玉県	1	1	ボスカリド	0.05	5

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	農作物					農薬名	検出 限界 (ppm)	農作物				
		A	B	C	D	E			A	B	C	D	E
BHC(α, β, γ 及び δ の和)	0.005	○	○	—	○	○	イソキサチオン	0.01	—	—	○	○	○
DDT(DDE,DDD,DDTの和)	0.005	○	○	○	○	○	イミダクロプリド	0.01	○	○	○	○	○
EPN	0.01	○	○	○	○	○	インドキサカルブ	0.01	○	○	○	○	○
アクリナトリン	0.01	○	○	○	○	○	エトキサゾール	0.01	○	○	○	○	○
アセタミプリド	0.01	○	○	○	○	○	エトフェンプロックス	0.01	○	○	○	○	○
アゾキシストロビン	0.01	○	○	○	○	○	エポキシコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
アラクロール	0.01	○	○	○	○	○	エンドスルファン(α 及び β の和)	0.005	○	○	○	○	○
アルドリノ及びディルドリン	0.005	○	○	—	○	○	エンドリン	0.005	○	○	○	○	○

表2 農薬の検査項目及び検出限界(続き)

農薬名	検出限界 (ppm)	農作物					農薬名	検出限界 (ppm)	農作物				
		A	B	C	D	E			A	B	C	D	E
オキサミル	0.01	○	○	○	○	○	ピリミノバックメチル	0.01	○	○	○	○	○
カルバリル	0.01	○	○	○	○	○	ピリミホスメチル	0.01	○	○	○	○	○
カルプロパミド	0.01	○	○	○	○	—	ファモキサドン	0.01	○	○	○	○	○
クミルロン	0.01	○	○	○	○	○	フィプロニル	0.002	—	○	○	○	○
クレソキシムメチル	0.01	○	○	○	○	○	フェナリモル	0.01	○	○	○	○	○
クロチアニジン	0.01	○	○	○	○	—	フェニトロチオン	0.01	○	○	○	○	○
クロマフェノジド	0.01	—	○	○	○	○	フェノブカルブ	0.01	○	○	○	○	○
クロルピリホス	0.01	○	○	○	○	○	フェンクロルホス	0.01	○	○	○	○	○
クロルピリホスメチル	0.01	○	○	○	○	○	フェンスルホチオン	0.01	○	○	○	○	○
クロルフェナピル	0.01	○	○	○	○	○	フェントエート	0.01	○	○	○	○	○
クロルプロファム	0.01	○	○	○	○	○	フェンバレレート	0.01	○	○	○	○	○
クロロクスロン	0.01	○	○	○	○	○	フェンピロキシメート	0.01	○	○	○	○	○
シアゾファミド	0.01	○	○	○	○	—	フェンブコナゾール	0.01	○	○	○	○	—
シアノフェンホス	0.01	○	○	○	○	○	フェンプロパトリン	0.01	○	○	○	○	○
シアノホス	0.01	○	○	○	○	○	フサライド	0.01	○	○	○	○	○
ジエトフェンカルブ	0.01	○	○	○	○	○	ブタフェナシル	0.01	○	○	○	○	○
ジコホール	0.01	○	○	○	○	○	ブプロフェジン	0.01	○	○	○	○	○
シハロトリン	0.01	○	○	○	○	○	フルジオキソニル	0.01	○	○	○	○	○
ジフェノコナゾール	0.01	○	○	○	—	○	フルシトリネート	0.01	○	○	○	○	○
シフルトリン	0.01	○	○	○	○	○	フルトラニル	0.01	○	○	○	○	○
シフルフェナミド	0.01	○	○	○	—	○	フルバリネート	0.01	○	○	○	○	○
シプロコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	フルフェノクスロン	0.01	○	○	○	○	○
シペルメトリン	0.01	○	○	○	○	○	フルリドン	0.01	○	○	○	○	○
ジメトエート	0.01	○	○	○	○	○	プロシミドン	0.01	○	○	○	○	○
ジメトモルフ	0.01	○	○	○	○	—	プロチオホス	0.01	○	○	○	○	○
シラフルオフェン	0.01	○	○	○	○	○	プロパホス	0.01	○	○	○	○	○
ダイアジノン	0.01	○	○	○	○	○	プロピコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
ダイムロン	0.01	○	○	○	○	○	プロピザミド	0.01	○	○	○	○	○
チアクロプリド	0.01	○	○	○	○	○	ブromoプロピレート	0.01	○	○	○	○	○
チアメトキサム	0.01	○	○	—	○	○	ヘキサコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
テトラコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.005	—	○	—	○	○
テブコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	ペルメトリン	0.01	○	○	○	○	○
テブフェノジド	0.01	○	○	○	○	○	ペンコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
テブフェンピラド	0.01	○	○	○	○	○	ペンシクロン	0.01	○	○	○	○	○
テフルトリン	0.01	○	○	○	○	○	ベンゾフェナップ	0.01	○	○	○	○	○
トリアゾホス	0.01	○	○	○	○	○	ベンダイオカルブ	0.01	○	○	○	○	○
トリチコナゾール	0.01	—	○	○	○	—	ボスカリド	0.01	—	○	○	—	○
トリフルラリン	0.01	○	○	—	○	○	ホスチアゼート	0.01	○	○	○	○	—
トリフロキシストロビン	0.01	○	○	○	○	○	マラチオン	0.01	○	○	○	○	○
トルクロホスメチル	0.01	○	○	○	○	○	マイクロブタニル	0.01	○	○	○	○	○
トルフェンピラド	0.01	—	○	○	○	—	メタラキシル及びメフェノキサム	0.01	○	○	○	○	○
ノバルロン	0.01	○	○	○	○	○	メチダチオン	0.01	○	○	○	○	○
パラチオン	0.01	○	○	○	○	○	メキシフェノジド	0.01	○	○	○	○	○
パラチオンメチル	0.01	○	○	○	○	○	メトラクロール	0.01	○	○	○	○	○
ビフェントリン	0.01	○	○	○	○	○	リニュロン	0.01	○	○	○	○	○
ピリダベン	0.01	○	○	○	○	○	リンデン(γ -BHC)	0.005	○	○	○	○	○
ピリプロキシフェン	0.01	○	○	○	○	○	ルフェヌロン	0.01	—	○	○	○	○
ピリミカーブ	0.01	○	○	○	○	○	レナシル	0.01	○	○	○	○	○

A:玄米 B:にんじん、ブロッコリー C:キャベツ、だいこんの根、とうがん、はくさい

D:さつまいも、さといも、じゃがいも E:みかん ○:実施、—:実施せず

DDTは p,p' -DDE、 p,p' -DDD、 o,p' -DDT及び p,p' -DDTの和

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】